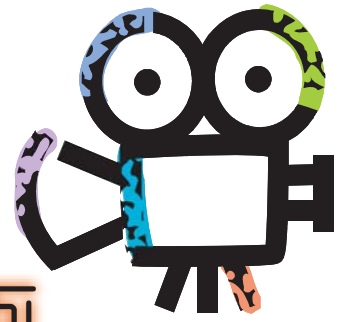


# 1930年代植民地期の 東南アジアで 撮影されたハリウッド映画 上映会



第2回

虎（1936年）

ベトナム（フランス領インドシナ）

日時：6月14日（木）6限

場所：115教室 東京外国語大学研究講義棟

アジア文化論Ⅱの講義ですが、どなたでも参加できます。



1931年にタヒチでロケをしたTabuがヒットしてから、「エキゾチック」な土地で現地の人々に演技をさせるドキュメンタリー風映画がハリウッドで多数作られるようになりました。今回紹介する作品にも、東南アジアの「エキゾチック」な風物に対する西洋の好奇心な視線を感じとることができます。

他方、1930年代の東南アジアの人々の生活や風景が写しとられており、貴重な記録ともなっています。

『虎』（Kliou: The Tiger）は、村人を襲う人食い虎を狩るベトナム人の若者を追った疑似ドキュメンタリー作品です。2原色テクニカラーで撮影されたオリジナルのフィルムは紛失していましたが、近年、16mmモノクロ版が再発見されました。今回はこのバージョンを上映します。

（サイレント、白黒、49分）

問い合わせ： [taoyama@tufs.ac.jp](mailto:taoyama@tufs.ac.jp)

青山亨研究室 633